

SEC01-08-11_「極意」改版仕様_電子書籍のメリット

1 改版履歴

1.1 2020 年 6 月 16 日 「極意」改版仕様

1.2 2020 年 5 月 13 日 補足

1.3 2019 年 8 月

2 「極意」改版仕様

2.1 概要

2.1.1 冊子体（200 ページ程度）を改訂して、冊子体及び電子書籍版を
する

2.2 改版原本

2.2.1 版組データ

2.2.1.1 INDESIGN データ

2.2.2 部品

2.2.2.1 PHOTOSHOP データ

2.2.2.2 ILLASTORATOR データ

2.2.3 SUBTOPIC

2.3 改版内容

2.3.1 大幅な修正もしくは追加：50 ページ程度

2.3.2 項目の追加・変更に伴う項目番号等の付け替え等、軽微な修正：100 ページ程度

2.3.3 追加ページでのイラスト：1 点/ページ程度

2.4 想定納品物形態

2.4.1 INDESIGN データ

2.4.1.1 下記の成果物の原本として利用できる形式

2.4.2 冊子体印刷原本

2.4.2.1 印刷用版下？

2.4.3 冊子体と同様の構成の電子書籍

2.4.3.1 文字列検索、目次・索引からのジャンプ、URL での外部リンク

2.4.3.2 FIX 型

2.4.3.2.1 PDF

2.4.3.3 リフロー型

2.4.3.3.1 EPUB

2.4.3.4 WEB ページ用

2.4.3.4.1 HTML データ

3 「極意」問い合わせ

3.1 「極意」PDF ファイル

3.1.1 [HTTPS://CYBERSECURITY-
TOKYO.JP/SECURITY/GUIDEBOOK/](https://cybersecurity-tokyo.jp/security/guidebook/)

4 電子書籍のメリット

4.1 一般論

4.1.1 メリット

4.1.1.1 本棚が必要ない（かさばらない）！

4.1.1.1.1 かさばらない

4.1.1.1.2 電子書籍であれば何冊持っていても、端末 1 台分に収まります。

4.1.1.2 自由自在に持ち運び可能！

4.1.1.2.1 収納スペースを必要としないだけでなく、どこへでも持ち運び可能

4.1.1.2.2 持っている本は全てスマホもしくは専用端末で持ち歩くことができます。

4.1.1.3 自宅で本が購入可能！

4.1.1.3.1 お気に入りの電子書店で一瞬のうちに購入ができます。

4.1.1.3.2 電子書店では 0 時になった瞬間に新刊が購入できちゃう

4.1.1.4 本が「お得」に買える！

4.1.1.4.1 「再販制度」という制度の適用外で値引きされる

4.1.1.4.2 各電子書店はお得を訴求できるので、多くの本がお得価格で買える

4.1.1.5 そもそも無料で読める本がいっぱい！

4.1.1.6 本の検索機能がある！

4.1.2 デメリット

4.1.2.1 実物がないため、「読んでいる」という実感を持ってない人も多い

4.1.2.1.1 実物を持ってページをめくりながら読む、という読書スタイルはできません。

4.1.2.2 ページの端を折れない / 気軽にマーカーなどで線を引けない！

4.1.2.2.1 （ただし、電子書籍には、代替する機能はある）

しおり機能、コメント機能

4.1.2.3 目が悪くなる（疲労がたまる）！

4.1.2.4 紙の本より発売が遅い本 / 紙でしか売っていない本がある！

4.1.2.5 電子書籍の運営会社が潰れてしまったら読めなくなる！

4.2 極意では

4.2.1 メリット

4.2.1.1 内容の改訂

4.2.1.1.1 INDESIGN 等のソフトで版を作成すると、印刷用版下、PDF、EPUB 版がワンソースマルチユースの形で生成できる

4.2.1.1.2 複数の電子書籍サイトから、無料本として出版できる

利用者は電子書籍サイトを自由に選択できる

電子書籍サイトによっては、プリントオンデマンド（POD）サービスもある

4.2.1.1.3 内容の改訂が必要になった場合、その部分だけ修正して、公開できる

文字列の修正レベルであれば、業者に委託せず行える

4.2.1.2 紙での出版との比較

4.2.1.2.1 印刷・配送コストが掛からない

4.2.1.3 EPUB（リフロー型）

4.2.1.3.1 読み物形態の書籍は、文字を拡大しても画面からはみ出さずに折り返して表示される

老眼鏡が要らない

いつでもどこでも最適な形で読める

利用者のシチュエーションに応じて、スマホ、ガラケー、タブレット、PCで最適な文字サイズで読める

4.2.1.4 PDF 等（FIX 型）

4.2.1.4.1 拡大表示ができる。ただし、画面からはみ出す

4.2.1.5 検索機能

4.2.1.5.1 文字列検索

4.2.1.5.2 目次、索引から飛べる

4.2.1.5.3 脚注へ飛び、また戻れる

4.2.1.5.4 URL リンクにより必要な WEB ページに飛べる

4.2.1.5.5 用語辞書検索

WIKIPEDIA 等

大辞泉,,,,

英和辞典

4.2.2 デメリット

4.2.2.1 SUBTOPIC

4.2.3 想定する成果物の形式

4.2.3.1 ○素材としてのイラスト、部品類は

4.2.3.1.1 ILLUSTRATOR 形式、PHTOSHOP 形式

4.2.3.2 ○成果物原本は

4.2.3.2.1 INDESIGN 形式

文字列検索、目次、索引から飛べること

脚注へ飛び、また戻れること

URL リンクにより必要な WEB ページに飛べること

。 。 。

4.2.3.3 ○提供媒体は

4.2.3.3.1 ☆リフロー版電子書籍は、EPUB（リフロー）形式

4.2.3.3.2 ☆FIX 版は、EPUB（FIX）形式及び PDF 形式

4.2.3.3.3 ☆WEB ページは、HTML 形式

4.2.4 要件定義

4.2.4.1

成果物としてのデジタル化仕様の要件定義 －原資料からのデジタル化要件定義（主な項目）－

- 作成内容
 - 原資料からスキャンして画像データ作成
 - メタデータ作成（記述メタデータ、技術メタデータ、管理メタデータ、権利メタデータ等）
 - 検索のための目次、索引、タグ付け
 - 全文テキスト化、構造化
 - リフロー型電子書籍、
 - 視覚障害者向けに読み上げ可能化
- デジタル化方法
 - 撮影
 - スキャン
 - フラットベッド、オーバーヘッド、デジタルカメラ
 - フィルム撮影、フィルムからデジタル化
 - スキャン単位
 - 見開き、片ページ
 - 媒体
 - マイクロフィルム、カラーマイクロフィルム
 - 大判・中判フィルム、35mmフィルム
 - 光ディスク
- スキャン方法
 - 色調、明るさ及びコントラストの調整仕様
 - カラーマネジメント
- 品質検査仕様
 - 解像度、解像度分解能52、階調、色調再現性等を評価

- 画像データ仕様
 - 画像フォーマット
 - 保存用画像：Jpeg2000,tiff, jpeg, PNG, PDF, ...
 - 提供用画像：予め作成しておく場合の形式
 - サムネイル画像
 - 解像度、サイズ、圧縮率
 - カラースペース、階調
- コンテナ形式
 - EPUB、PDF
 - FIX型（レイアウト保持）、リフロー型、ハイブリッド型
 - 単一画像
- メタデータ
 - 管理用
 - 画像データ自体に関するもの
 - 画像データの作製に関するもの
- テキストデータ仕様
 - EPUB3.0（現在3.1版策定中）
 - HTML/CSS
 - XML, XHTML
 - プレーンテキスト

•発注者として、その内容の意味するところ、変更した場合の影響度合い等、受注者と対等に議論できるスキル（ノウハウと知識）が必要

4.2.4.2

成果物としてのデジタル化仕様の要件定義 －電子書籍化要件定義（主な項目）－

•担当する場合は、必要に応じて、専門的なスキルが必要

- 最終成果物の形式
 - 構造化テキスト（マスター原稿）
 - XML+XSL
 - HTML5+CSS3
 - リフロー型電子書籍（文字主体の本）
 - EPUB3.0（現在仕様）
 - EPUB3.1（策定中）
 - FIX型電子書籍（ビジュアル指向の本）
 - EPUB3.0
 - PDF（テキスト埋め込み有無）
 - Webページ（HTML5+CSS3）
 - PODによるペーパーバック本
- 作成するメタデータ記述要素・記述規則
 - 書誌的事項のメタデータ
 - 本文埋め込みメタデータ
- 指定するビュー依存形式
 - 著作権保護機能（DRM）
 - KindleAZW3形式（mobi+DRM）

- 利用するコンテンツ制作環境サービス
 - NextPublishing（インプレスR&D社）
 - Viviliostyle（ビブリオスタイル社）
 - Romancer（ボイジャー社）
 - でんでんコンバーター（電書ちゃんねる）
- 維持管理に利用するコンテンツ管理用・制作用ツール
 - Calibre（オープンソースソフトウェア）
 - 一太郎2015（ジャストシステム）
 - FUSEe, sigil(EPUB2.0のみ)
- 適用するコンテンツ制作用ガイドライン・テンプレート
 - 超原稿用紙（MSWORD版）（インプレスR&D）
 - 電書協 EPUB 3 制作ガイド ver.1.1.3（日本電子書籍出版社協会）
 - XML組版ガイドライン（学術情報XML推進協議会）